

特別史跡藤原宮跡

Special Historic Site Fujiwara Palace Site

藤原京は、持統天皇の8年(西暦694年)から和銅3年(西暦710年)まで、持統・文武・元明天皇3代にわたる都でした。中国の都城制に倣い、初めて本格的な都市計画のもと造営されました。ここでは、「二官八省制」と呼ばれる官庁組織や大宝元年(西暦701年)の大宝律令の制定によって、国を治めてゆく政治の制度、「律令制度」が整備されました。

藤原宮は、この藤原京の中心部にあたり、現在の皇居と国会議事堂、および霞ヶ関の官庁街とを1カ所に集めたようなところ。大きさは約900m四方、まわりを大垣(高い塀)と濠で囲み、各面に3ヶ所ずつ門が開きます。中には天皇が住む内裏、政治や儀式を行う大極



殿と朝堂院、そして役所の建物などが建ち並んでいました。

藤原宮跡は、平城宮跡とともに、歴史的・学術的に貴重な価値を有する重要な遺跡として、昭和27年特別史跡に指定されました。

橿原市藤原京資料室

Exhibition Room of Kashihara-City at Fujiwara Capital Site

— 藤原宮大極殿跡に最も近い資料室 —

本資料室は、世界遺産登録をめざす「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」の構成資産のひとつ「特別史跡藤原宮跡」をより理解していただくことを目的に、平成18年に開室しました。

資料室では、藤原京1000分の1模型、藤原宮跡の出土品、解説パネルなどを展示しています。また、藤原宮跡で咲く花々や、「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」の構成資産を写真で紹介しています。映像コーナーでは、当時の藤原京の再現CGや、藤原京を造営した天武天皇・持統天皇の功績を描いたアニメーション、日本遺産「日本国創成のとき 飛鳥を翔た女性たち」の、飛鳥時代に活躍した女帝たちを紹介するドラマなどがご覧いただけます。展望室からは、藤原宮跡朝堂院跡や大和三山のひとつ、天の香具山が一望できます。入室記念スタンプは、藤原宮大極殿・藤原宮軒丸瓦・藤原宮跡の蓮(碧台蓮)と、いずれも藤原宮跡の魅力を伝えるものです。また、宮跡に咲く花々をあしらったネームタグもプレゼントしています。

本資料室とともに、香具山の麓の「奈良文化財研究所藤原宮跡資料室」へもぜひ足をお運びください。藤原宮跡の魅力をより深く感じていただけるでしょう。



特別史跡藤原宮跡と美しい花園観賞のひとつ、「飛鳥・藤原」周遊の旅の思い出づくりに、どうぞ本資料室へお立ち寄りください。

- ・住所: 橿原市縄手町178-1
(JAならげん橿原東部経済センター2階)
- ・開室時間: 午前9時00分～午後5時00分
(最終入室は午後4時30分)
- ・休室日: 月曜日(月曜日が祝祭日の場合は、その翌日)
年末年始(12月27日～1月4日)
- ・入室料: 無料
- ・駐車場: 無料(普通車30台、バス2台駐車可)

交通案内

- 近鉄耳成駅より南西へ、近鉄畷傍御陵前駅より東へ
JR畷傍駅より南東へともに徒歩約30分
- 近鉄大和八木駅よりコミュニティバスで4つ目の停留所
(橿原市藤原京資料室前)で下車(約20分)